

# 資料 2

## 平成30年度 学校生活相談センターの相談状況について( 6月末現在)

心の支援課

### ◆件数・回数 of 同期比較◆

	前年度		本年度	
	H29年度(～6月末)		H30年度(～6月末)	
相談件数	160件	→	204件	(44件 増)
延べ回数	204回	→	307回	(103回 増)

### 1 相談の形態

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
電話	平日昼間	93	45.6%	121	39.4%
	夜間・休日	96	47.1%	149	48.5%
文書 (メール・FAX・手紙)	15	7.4%	34	11.1%	
来所	0	0.0%	3	1.0%	
計	204	100.0%	307	100.0%	

・昨年度と比較すると、平日昼間・夜間共に増加傾向にあり、相談件数は約3割、延べ回数は約5割増加している。

### 2 連携した案件

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
相談者から連携希望があった案件	14	6.9%	23	7.5%
傾聴を主とした案件	190	93.1%	284	92.5%
計	204	100.0%	307	100.0%

#### 主な連携先

小中学校	… 6件	私学・高等教育課	… 0件
県立高校	… 9件	こども・家庭課	… 0件
県教育委員会他課	… 2件	児童相談所	… 0件
教育事務所	… 3件	子ども支援センター	… 0件
市町村教育委員会	… 0件		

### 3 月別相談件数

区分	件数	割合	延べ回数	割合
4月	52	25.5%	75	24.4%
5月	79	38.7%	109	35.5%
6月	73	35.8%	123	40.1%
7月	0	0.0%	0	0.0%
8月	0	0.0%	0	0.0%
9月	0	0.0%	0	0.0%
10月	0	0.0%	0	0.0%
11月	0	0.0%	0	0.0%
12月	0	0.0%	0	0.0%
1月	0	0.0%	0	0.0%
2月	0	0.0%	0	0.0%
3月	0	0.0%	0	0.0%
計	204	100.0%	307	100.0%

#### 4 相談者の状況

##### (1) 主訴(相談者全体)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関する事	いじめ・嫌がらせ	19	9.3%	21	6.8%
	不登校・登校渋り	28	13.7%	33	10.7%
	その他	42	20.6%	54	17.6%
学校・教師に関する事	61	29.9%	105	34.2%	
家庭・私生活に関する事	20	9.8%	54	17.6%	
意見・問い合わせ	24	11.8%	27	8.8%	
その他	10	4.9%	13	4.3%	
計	204	100.0%	307	100.0%	

##### (2) 主訴(子どものみ)

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合	
子どもに関する事	いじめ・嫌がらせ	7	9.5%	8	7.4%
	不登校・登校渋り	5	6.8%	5	4.6%
	その他	30	40.5%	41	38.0%
学校・教師に関する事	10	13.5%	23	21.3%	
家庭・私生活に関する事	8	10.8%	13	12.1%	
意見・問い合わせ	8	10.8%	9	8.3%	
その他	6	8.1%	9	8.3%	
計	74	100.0%	108	100.0%	

##### (3) 相談者の内訳

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
子ども	74	36.3%	108	35.2%
本人	74	36.3%	108	35.2%
本人以外の子ども	0	0.0%	0	0.0%
大人	128	62.7%	197	64.2%
父	11	5.4%	11	3.6%
母	98	48.0%	165	53.7%
祖父	2	1.0%	3	1.0%
祖母	6	2.9%	7	2.3%
その他の大人	11	5.4%	11	3.6%
不明	2	1.0%	2	0.6%
計	204	100.0%	307	100.0%

- ・関係機関に連携した案件は、学校・教師の対応についての案件が目立っている。
- ・大人からの相談が6割以上を占めている。特に、不登校や学校・教師の対応について、保護者または祖父や祖母などの家族が相談する案件が目立っている。
- ・学校生活以外の家庭や私生活についての相談も1割以上を占めるようになってきている。

#### 5 相談対象者の状況

##### (1) 相談対象者の性別

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
男	88	43.1%	129	42.0%
女	100	49.0%	156	50.8%
不明	16	7.9%	22	7.2%
計	204	100.0%	307	100.0%

(2) 相談対象者の学校区分

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
就学前	2	1.0%	2	0.7%
小学生(低学年)	19	9.3%	25	8.1%
小学生(高学年)	31	15.2%	50	16.3%
中学生	54	26.5%	78	25.4%
高校生	81	39.7%	132	43.0%
その他	5	2.4%	5	1.6%
不明	12	5.9%	15	4.9%
計	204	100.0%	307	100.0%

(3) 学校の所在地域

区分	相談件数	割合	延べ回数	割合
北信	53	26.0%	116	37.8%
東信	24	11.8%	29	9.4%
中信	22	10.8%	26	8.5%
南信	19	9.3%	32	10.4%
その他	0	0.0%	0	0.0%
不明	86	42.1%	104	33.9%
計	204	100.0%	307	100.0%

- ・相談対象者は、女子の割合が若干高い。
- ・相談対象者の学校区分は、4割が高校生である。

6月メモ

- ・4月から昨年度を上回るペースで相談件数、延べ回数とも増えている。延べ回数に関しては、6月末の時点で、昨年度の7月末の数を超えている。
- ・主訴が学校・教師の対応の場合、継続案件になることが多く、電話相談、メール相談ともに複数の案件で回以上継続した。
- ・複数の相談者が、かなりの頻度で相談するようになってきている。1回の相談が基本であるが、定期的に入電することで当相談窓口を心の拠り所していると考えられる。
- ・6月下旬にLINE相談の周知カードを配付したあたりから、相談件数がさらに増加している。

